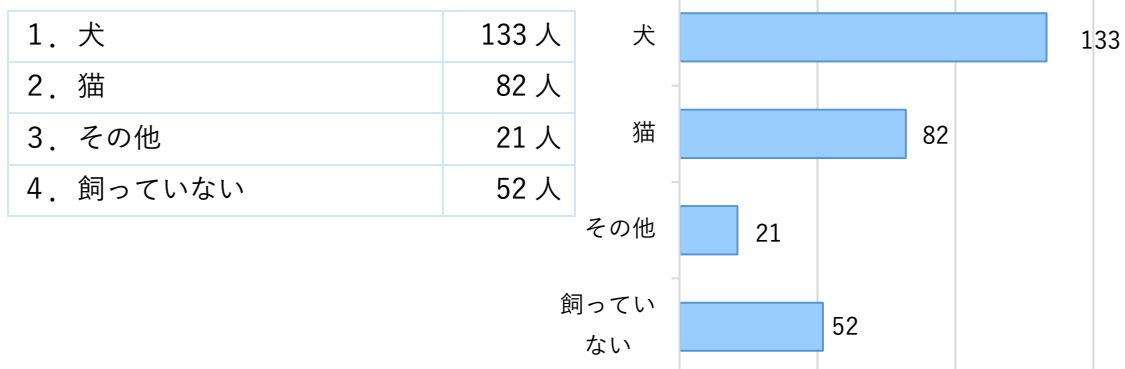


ペット防災について

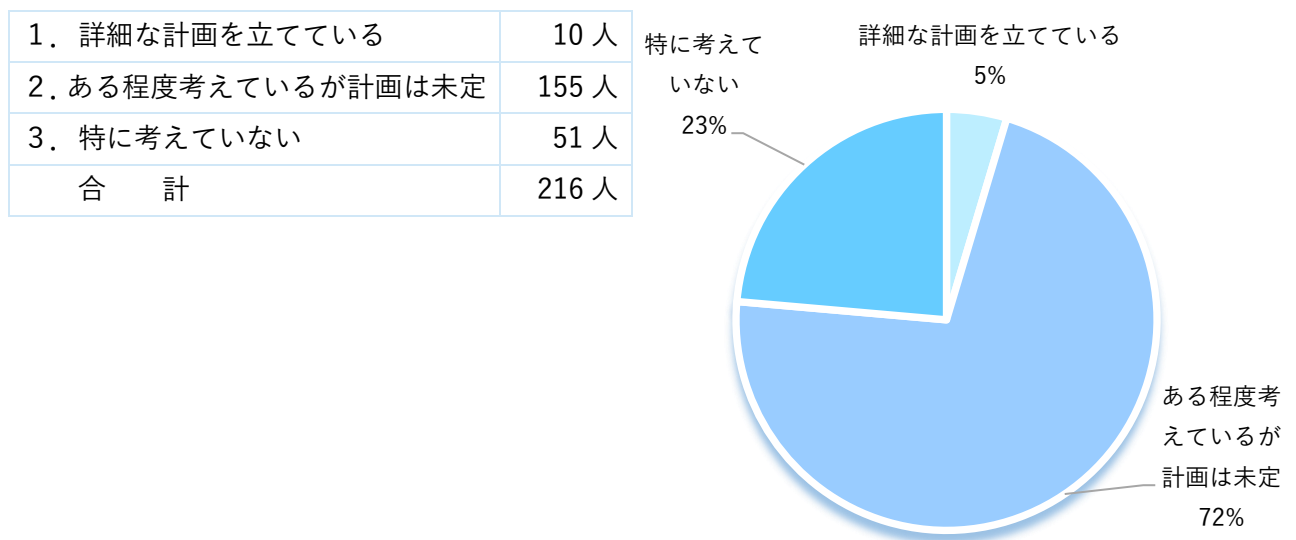
募集期間：2025/2/1-2025/3/31 回答総数 288 人

全国で地震や水害などの自然災害が頻発する中、国は災害の発生時にはペットと一緒に避難する「同行避難」を呼びかけています。しかし、さまざまな問題から避難所での受け入れ体制は不十分であることが多いのが現状です。ペット防災について、ペットを飼っている方とそうでない方のご意見を、今後の対策の参考にさせていただきます。

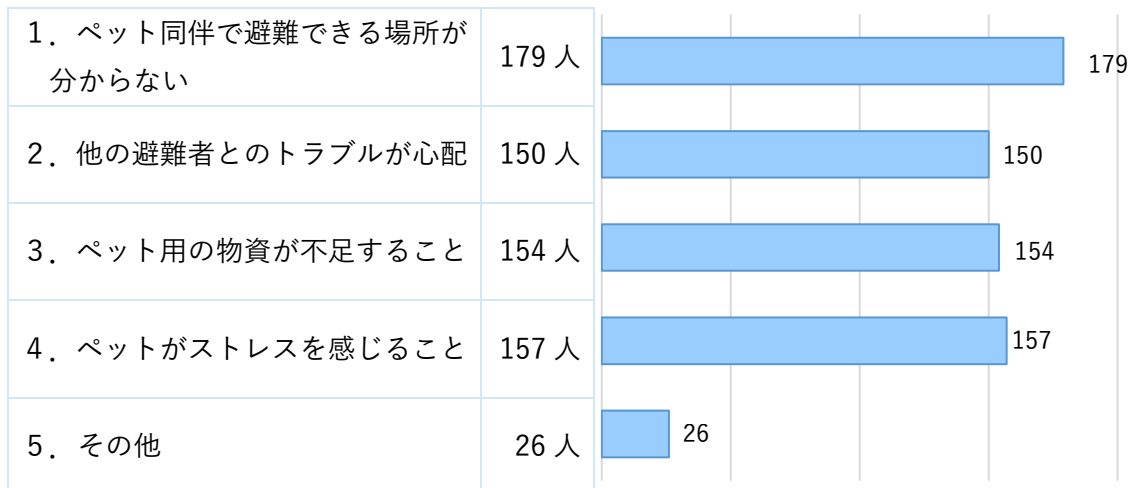
Q 1：飼っているペットを教えてください。（複数選択）



Q 2：災害時にペットをどうするか、事前に計画を立てていますか。（1つ選択）



Q 3：災害時にペットと一緒に避難する際、不安に感じることは何ですか。（複数選択）



Q 4：Q 3で「5. その他」を選択した方にお伺いします。不安に感じることを教えてください。（自由記入）

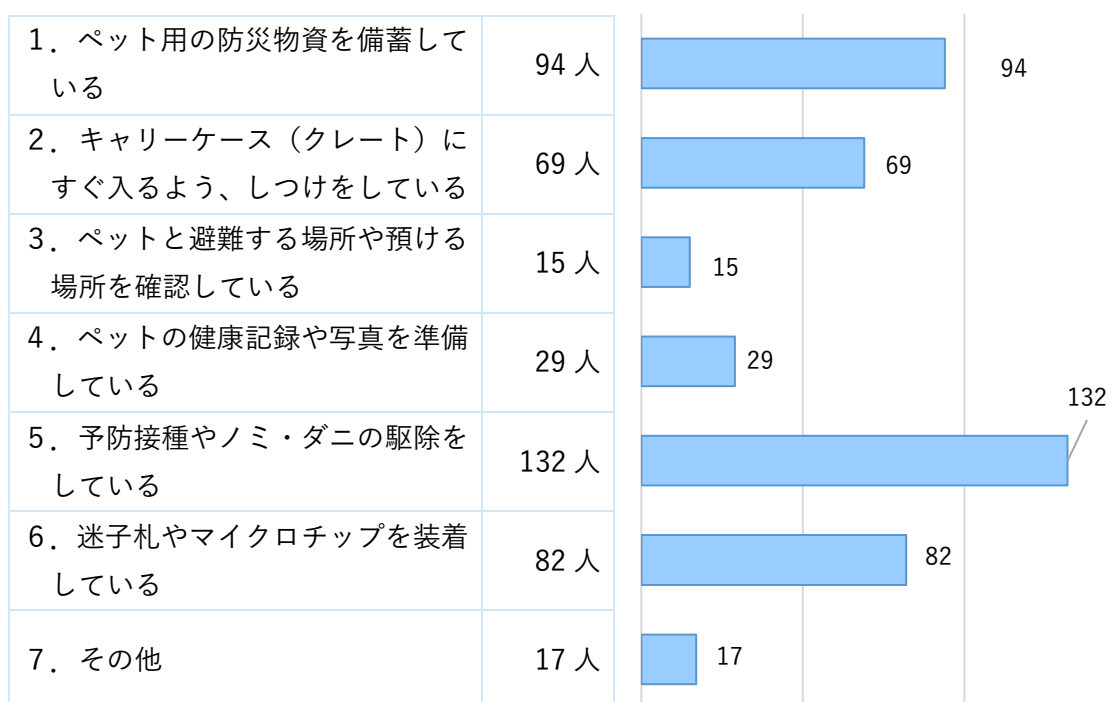
ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

- 犬が体調を崩さないかどうか。一緒に過ごせるか。
- キャリーケースに入れたまま猫がストレスになる。キャリーケースから出すと脱走する恐れがある。
- ペットのケガや病気の対応。
- 外飼いの為、避難する時にどこにいるのか分からず、一緒に避難出来ないかもしれない。犬と違い、リードもないので避難場所で他の避難者を見てビクビクして逃げ出さないか心配。
- 複数匹の場合、人の災害用品などとペットの生活用品を持って、ペットのケージを持って避難が難しいと感じる。行く時に車を使っては迷惑かかるだろうしペットを外に置いておくしかないとして、ケージから逃げないか、誰かにイタズラされないか、犬ならまだしも猫なら難しいし鍵もないだろうし、トイレするのも猫は難しい砂がいるなど場所があるし。
- 多頭飼いなので自宅避難を考えています。9匹連れて逃げられない。近所の実家には猫4匹と介護が必要な老人一人。どちらをとるか悩んでいます。
- 高齢の猫であるためストレスでの病気が心配。
- 家でペット用品を備蓄していてもそれが使えるかは不明。使えない時、人間のものは配給されてもペットは除外されるのかな？ペットも家族です。人間と同じ対応を求めます。
- 県外の友人に預ける場合に輸送手段があるか？
- 家族が仕事等ですぐに帰れない場合の対応。
- トイレのこと。犬のように繋いでおけない。完全屋内飼育なので、ワクチンを打っ

ていない為、他の猫との接触等。

- 重度の犬猫鳥アレルギーなのでペット同伴できる避難所には入れないし近づけない喘息が出ます。
- 排泄など、動物と人との衛生面。
- はぐれた時に再会できるかどうか。
- ペットが避難所で飼い主と離れたところでまとめて面倒を見てもらっている映像を観たことがあるが暑い寒い等の劣悪な環境（仕方がないことですが）で過ごすことで持病の悪化、ストレス等で命を縮める事になるのではと心配。
- 大型犬なうえに、犬が病気を持っているのでその病気が悪化しないかが心配。
- 多頭飼いなので、まず避難する時に1人では全匹は無理だし、避難場所が難しいんじゃないかと…不安です。

Q 5：災害発生時、ペットのために、次のどの準備をしていますか。（複数選択）

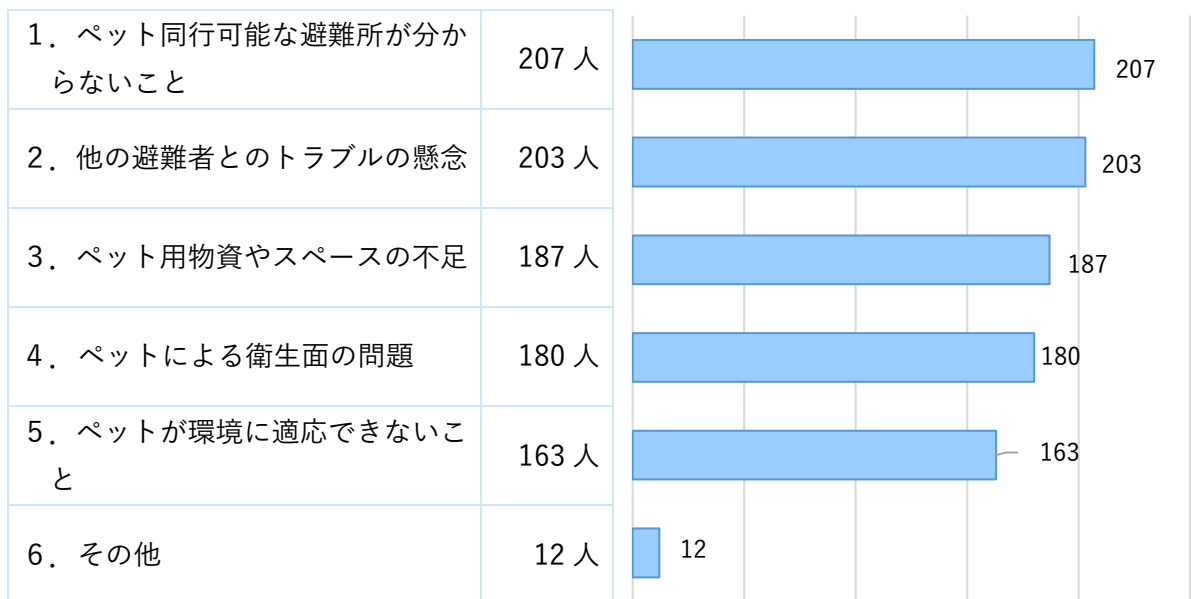


Q 6：Q 5で「8. その他」を選択した方にお伺いします。ペットのためにどのような準備をされているか教えてください。（自由記入）

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介しますいただきます。

- フードを多めに備蓄するようにしている。
- 靴を履かせるようにしている。
- 普段からペットと一緒に車中泊の旅をして慣らしている。
- 避難所には入らず車でペットと一緒に避難生活を考えている。
- 車を車中泊できるような仕様に変更した。
- 人、犬に噛みつかないようにしつけ。
- ある程度『待て』ができるようにしつけている。
- ローリングストックで普段食べているものを少し余分に買い置きしてある。
- 医療用の餌の予備を常に置いている。

Q 7：ペット同行避難でどのような課題があると思いますか。（複数選択）



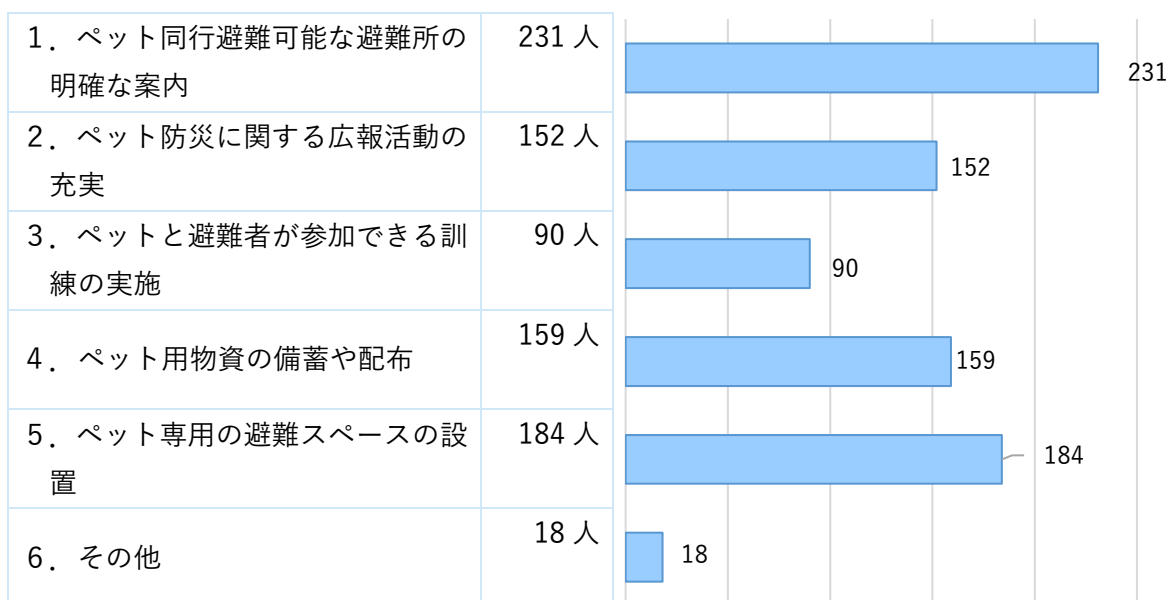
Q 8：Q 7で「6. その他」を選択した方にお伺いします。課題だと思うことはなにか教えてください。（自由記入）

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介しますいただきます。

- 緊急時のスムーズなペットとの移動。
- ペットのケガや病気の対応。

- そもそも犬猫以外と避難して理解が得られないのではないか。
- 人間も同じ課題ですが、車がない人達の暑さ対策。
- 人によるとペットを受け入れして貰えないため私達も避難所に入ることができず辛い思いをしそうである。
- ペットも家族と理解していない人もいる。
- アレルギーや苦手、嫌いな人もいる。
- 定期的に通院が必要な子がいるので通院できない事で確実に死に近づく事が心配。
- 災害時、獣医の方への負担が大きくなるのではと思いました。
- ペットを亡くされた方々への心のケアも課題があるように思います。
- ペットはペット、先ずは人間。
- 人が過ごすスペースに当然のようにペットを持ち込まれることは違うと思う。
- 普段ペットを飼っていない人にとってみれば恐怖の対象であったり、鳴き声や臭いに耐えられないことを理解してほしい。

Q 9：ペット同行避難について、市に求める取り組みは何ですか。（複数選択）



Q 10：Q 9で「6. その他」を選択した方にお伺いします。市に求める取り組みはなにか教えてください。（自由記入）

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

- 動物の毛にアレルギーを持つので、ペット同行避難不可の避難所をきちんと分けて案内していただきたいです。アレルギーを持つ小さなお子さんも多いと思いますが、私のように喘息様反応を起こすと命の危険すらあります。避難生活というストレスの多い環境では、アレルギー反応が強く表れると思われます。今まで吸入器を使わずに

いた方が、重い発作を起こすことがあります。ペットの命と、アレルギー患者の命を天秤にかけないでくださいとまでは申しませんが、ご配慮ください。

- ペットと人間が一緒の方がいいとは思いますが…一緒には難しいのではないのでしょうか。
- ペットは大切だけど、まず人ありきであると行政が指導してほしい。
- ペットのケガや病気の対応
- ペット受け入れ可でも、スペースを区切るだけでは、ペットを連れていない人に気兼ねしてしまう。
- 動物が嫌いな方と同じ空間にいと、動物嫌いの方のストレスになるのではないのか。犬や猫のリードや移動用カバン等支給してもらえないのか。魚を飼っている場合どうしたらいいか。
- 市で可能な補助を教えてもらえれば、不足な部分を個人個人で準備できると思う。
- ペットに、鳥がいて、鳴き声は、しつけできないため、鳴き声が大丈夫な場所を作してほしい。ペットの避難の仕方をまとめた、冊子を作って配布してほしい。
(犬、ネコだけでなく、小動物、爬虫類など)
- ペット専用スペースは飼い主と一緒にいい。外などは論外。
- 避難場所におけるペットの糞尿の場所確保。アレルギー持ちのペットの食事確保。
- 犬猫以外の避難所があればいいが多くは求めない。アレルギー源になりえる場所を多くするのはあまりいい印象を持つことはできない。そもそも避難場所が少ないのに緊急時に喘息等の持病で諦めないといけないという選択があるのがおかしい。

Q 1 1 : 災害時のペット同行避難について、自由にご意見をお書きください。(自由記入)

ご回答ありがとうございます。ご記入いただきました回答の一部をご紹介します。

- ペットは家族と聞きます。私自身も、犬猫小鳥の飼育経験があります。もう 40 年近くペットを飼っていませんが、その気持ちはわかります。ただ、信じられないことに小さな子供の泣き声に我慢がならない方がいます。同様にペットの鳴き声が苦痛になる方もいるでしょう。また、ペット同行避難をどれほどの方が希望されているかはわかりませんが、人が満足に食事が出来ない中、Q6-4 にある税金でペットフードを備蓄配布するというのはいかがなものでしょうか。避難所ではキャリーケースの中で過ごすペットを可哀そうだと思う飼い主さんもいると思います。国が「同行避難」を呼びかけているなら、国は「同行避難のルールやマナー」などの整理・整備や呼びかけをおこなっているのでしょうか。新居浜市はそのようなものを定めて周知されていますか。ストレスいっぱいの避難所において、個人の判断にまかせた【ルー

ルのない「同行避難」】が行われるとしたら、トラブルの原因となります。

- 一緒に住んで居られる方は慣れていると思うのですが、私は動物は好きですが、全てに置いてニオイが苦手です。一緒に避難所に避難はあり得ること。ただ隣で四六時中一緒となると、耐えられないかと思ってしまう。なんとか対処方法も考えて欲しい。
- 犬や猫にばかり目がいつているが、犬猫はオッケーでそれ以外はダメ、だと不公平極まりない。
- 市にドッグランを作成し(設備維持の為に使用料は有料)、災害時にはドッグランを活用できるようにするのはどうか。ペットも普段からそのドッグランに通ったりすることで、その場所に対する恐怖心なども多少は軽減されるのではないか。また、使用者も普段から使用することで、勝手にわかり、人も犬も困惑しにくい環境を作成することができるのでは。ペット用のエサなどをそこに備蓄し、もし、賞味期限などが近くなったエサの配布方法もそのドッグランを使用することで、配布による手間も削減されるかと思う。(保護団体に寄付するのもアリ)
- 盲導犬のような、介助犬は必要であると思いますが、トラブルを避けるためにもなるべくペット同伴避難は避けて欲しいと思います。動物アレルギーの方や、匂い問題、人間の食べ物飲み物なのに飼い主がペットの分まで取りかねない、などなどトラブルの原因になりかねません。命であること、「ペットは家族と同じだ」、などお気持ちはわかりますが、人間優先でないと復興もなかなか出来ないと思います。ペット同伴の避難者は、外でテントを張って過ごすといった、はっきりとした徹底されたゾーン分けしていただけるほどなら安心して避難できますが。飼い主全員が行き届いた配慮をできればですが、非常事態にそこまで冷静に考えることができるとは考えられません。ペット同伴避難もですが、未来のことを考えるならば 0 歳児や妊婦さんへの手厚い避難配慮を取り組んでほしいです。
- ペットが苦手な人は勿論、アレルギーや喘息など体質的にペットと同じ空間にすることができない人たちのために、ペットと飼い主がともに避難できる場所をつくってほしい。また同じ敷地内で区別するのではなく、全く別の場所にペット専用避難所があるのが望ましいと思う。みんなが皆、きちんと躰がなっているペットばかりではないので。アレルギーのある人や高齢者とは分けて避難出来る施設があれば良いと思う。
- 飼っているペットは大切な家族だと思うので、一緒に連れて避難したい気持ちもわかります。それに寄り添う取り組みがされるのも大切だと思います。しかし、動物が苦手な人、アレルギーがある人がいることを前提に考えてほしいと言うのが正直な気持ちです。
- 市民に対する備蓄が不十分な現時点では、ペットに対しての備蓄は飼い主に責任をもつように周知する必要があると思う。ただ、これまでの災害時にペットがいるので避難所には行けないと言う意見も聞いているので、ペットのいる人といない人の棲み分けは想定して避難所運営を考える必要があると思う。
- 犬・猫などはノミ・ダニがついているから、衛生的にもしっかり分けてほしい。よほどの大災害でない限り(立ち入り禁止区域になるほどの建物の崩壊など)基本的には避難

所にはペットは入れてほしくない。

- ペットは家族です。避難の際同行しなければペットの命にかかわります。法律ではペットは物かも知れませんが、人と同じ大切な命です。良く言われる「人が大変な時にペットどころじゃ無いだろう」ペットでは無く、家族なのです、1つの尊い命です。動物が好きでは無い人が居るのは分かっています。鳴き声、臭い、噛みつくのでは？などなど…だからこそペット同行者だけを受け入れる避難場所が今後必須だと考えます。
- 人間はもちろん、犬も大事な家族なので、南海トラフ地震が来る前に、きっちり整備して欲しいし、有用な情報を流して欲しいです。
- 自分の意思を言えないペットを最優先にしてあげたい気持ちがあります。避難先での他人との生活がとても不安です。
- 避難している方に迷惑かけるのが心配です。
- ペットは、自分よりも大事と考えています。今後災害が起こった時に人間同様同じように避難場所を作ってほしい。この避難場は、ペット同伴可と明確に記載して、ペット連れの方が遠慮するような環境を作らないでほしい。人間は、生きていけるけど、ペットは人の助けがないと生きられない。ペット同伴下が当たり前という環境をつくってほしい。動物アレルギーなど様々な問題がありますが、それも含めて早急に対応してほしい。ペットを飼っている人で私の周りには、ペットと一緒に避難できるかわからないって言う人がほとんどでした。人間目線でしか、新居浜市は発信出来てない。
- ペットも家族なので、一緒に避難できる場所は確保して欲しいです。
- 人間の避難所や、避難所でのスペースも充分整っているとは思っていないのでとてもじゃないがペットを連れての避難は無理だと思っています。なので、もし何かあっても自宅に残るか車に避難するかのどちらかだと思っています。
- 今は犬1頭猫2匹飼っているので、避難所には行かず車中暮らしになります。ペットと安心して避難出来る場所が欲しいです。家族と同じですから。
- ペットといっても飼っている側は家族同然での扱いであるが嫌いな人はほんとうに嫌いでお互いが同スペースで生活するのは困難と考える。なので、はなから別々の避難場所を設定する必要があるのではないかな？
- 私はペットを飼っていませんが、飼っている人にとっては、家族だと思うので、避難場所の保持は、大事だと思います。
- 災害時、泣く泣くペットを置いて避難生活をする人が多いみたいですが、嫌な人は多いはず！ペットを飼っている人も多いし、ペットも家族です。アレルギーがある人がいるのも分かります。犬と猫、その他ペットをせめて学校のフロアで分けることができないのかな…と思います。ペットのフード、トイレシートなどの備蓄も…他市とは違う、新居浜の災害活動の強みになれば良いなあと思っています。
- 飼い猫がキャリー＝病院に連れて行かれると思って入ってくれません。どのようにしたら入ってくれるようになるのか教えて欲しいです。

- 新居浜市がペット同伴避難に取り組んだ前向きなアンケートをしてくれてありがたいです。
- ペットと言っても家族同然。我が家は避難場所があまりにも遠いと在宅避難の予定です。海も近い事もあるので。これからもペットに優しい新居浜市にしてくれるようお願いしてます。よろしくお願いします
- 家族であるペットを残して避難はできません。ペットと避難できる避難所をできるだけ多く作ってください。
- 学校の体育館や公民館などが避難場所になると思うが、各小学校区に1ヵ所（せめて各中学校区に1ヵ所）ずつ、ペット同行者専用の避難場所が欲しい。
- 車で車中泊するので、それに対応できるような環境があれば助かります。
- 災害時、ペット同伴に限らずに、市が準備していることなどを動画などで周知したらいいと思う。
- 避難場所でのどのような仕組みで配給や避難場所へ誘導がされるのか、どこの人がどこへ行けばいいのか、文章ではなく動画でデモンストレーションを見せてもらえると、イメージしやすいと思う。
- 新居浜市にペット同行 ok の所があるのか？ないのか？もわからない状態です。同行可能の場合の広報活動をお願いします。
- 猫が複数おります。そして我が家には、知らない多勢の中に入れない発達障害の娘（大人）もあり、その両方のストレスをなるべく減らすことを考えた時に、倒壊していないのであれば自宅に居たいと考えていますし、娘は猫が心の中で抛り所であるため、離れることを拒否しております。ペット可の避難所にも行けない。と思っています。その辺は市にご迷惑をかけないように、自分たちでしっかり考えなくては。と思っています。
- 20 年程前の新居浜市の水害の際、ペットを飼っていた知人は避難所に入るのを遠慮して自家用車で過ごしていた。私もそうしなくてはならないかと思うと、不安だ。
- 同行避難ができるようにしてください。
- 居住スペースやペットのトイレ、餌や水の確保など課題がたくさんあると思います。ペットだけでなく、家畜の避難は難しいので他県との連携が必要だと思います。
- うちは、犬、猫ではなく、うさぎを飼っているので、外で飼育や避難はできない。基本的には在宅避難を考えてはいるが、家が使えない時は、どこに避難したらいいかわからない。
- 災害時はケージに入れっぱなしになるのではと心配している。我が家は療法食を与えている。行政に頼るだけではなく飼主はペットへの備蓄をするべきだと考える。動物病院との連携も大切。人間同様、薬不足が起こるだろう。以前、転売によって治療、療法食フードが入手困難になったことがあり、取り締まりがかなり遅れた。災害=転売屋が儲かるというシステムを行政はいいかげんストップするべき。
- あまり、防災について考えていなかったので考えるきっかけとなった。家族みんなて話をしようと思います。

総括

このたび実施したペット防災についてのアンケートには、ペットを飼っている方も飼っていない方も含め、多くの市民の皆様から貴重なご意見を多数お寄せいただきました。

結果からは、災害時のペット同行避難に対する不安や、避難所での受け入れ体制の明確化、物資の備蓄、衛生面や他の避難者との共存への懸念など、さまざまな課題が浮き彫りになりました。また、「ペットも家族として一緒に避難したい」との声と同時に、「アレルギーや苦手意識を持つ人への配慮も必要」といったご意見も多く寄せられました。

今後いただいたご意見をもとに、ペット同行避難に関する受け入れ体制やルールの整備、周知の充実に取り組んでまいります。今後も誰もが安心して避難できる環境づくりに向け、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(環境政策課)